

連載 ジェノグラム for Everyone

第1回 そのジェノグラム、家族が見えますか？

ツール、つくってます

はじめまして。大沼吹雪といいます。

秋田県の横手市役所で働いています。雪のドーム「かまくら」や「横手やきそば」でピンとくる方もいるかもしれませんね。現在は児童福祉とは別の仕事をしていますが、2017年に児童虐待などを担当していました。

ところで、皆さんが普段使っているジェノグラム、それを見たとき、家族がパッと見えてきますか？

今、私は「ああ、なるほど。こういう家族なんだ」とわかるジェノグラムをササッと作れるツールを作っています。

簡単で、しかも、家族の情報を詳しく入力できます。誰でも無料で使えます。とりとめなく話した言葉がジェノグラムになる機能も付いています。

では、どうして私がこんなものを作るようになったのか。話は9年前にさかのぼります。

何だ、この丸と四角は

2017年、人事異動で児童虐待などの担当に。初経験です。私のところでは、一時保護などを要する重篤なケースにも

対応します。学校、病院、一般の方などから虐待などの情報が入ります。そのたびに、何が起き、誰が動き、何をすべきか判断を迫られます。判断の間違いが命に関わる。そんな現場でジェノグラムと出会いました。

資料の片隅にある小さな図。丸、四角、線、ときどき黒く塗りつぶされていたり、斜線があったり。数字もある。何だ、これは。意味が分かりませんでした。



(注)今は若くありません

虐待は繰り返されることが多いです。同僚は、家族の名前が出ると「ああ、あの家族ね」とピンときて、その家族をイメージします。私はサッパリ分からず、何が決まったかも分かりません。本来、私が判断や指示を出す立場なのに、です。命がかかっているのに、異動してきた人間に気を遣ってられません。私が一言も話せないまま、どうするか決まっています。

目の前には、読めば3時間で済まなさそうな、文字だらけの資料があります。

当然ですが、意味不明な丸や四角から目をそらしていました。

なんで人が計算するんだ

私には、部下の資料チェックの仕事もありました。そこで、いろいろな間違いが目につきます。ジェノグラムと文章の年齢が違う。誕生日が来ていないのに年齢が増えてるし、学年も間違っている。そもそも、年齢早見表でいちいち確認したり、どれも面倒くさい。生年月日が分かっているんだから、Excel を使ったらいんじゃないか。

ジェノグラム作りにもイライラしました。当時 Word が使われていました。大きさが微妙にバラバラ、高さもズレて、線がくっついていなかったり……。家族関係が変わると書き直す。しかも、ベテランでもすごい時間がかかっているようでした。

ヤバイじゃん

そんな中、もっと重大なことにも気づきました。ケースについての会話です。



よくよく聞いてみると、話がずれている、誤解しているのに、会話は成立しています。それぞれの頭の中で、別のストーリーができています。「これはヤバイじゃん」と思いました。みんな、頭でイメージしたものだけで話してるから間違え、間違いに気づかない。

だったら、みんなが同じ家族の情報を見ながら話せばいい。それには、家族の情報が豊富に書かれたジェノグラムが使えるんじゃないか。そこで、それまで別々に感じていたことが、私の中でつながりました。

Excel でできるかも？

年齢を間違える。だったら、Excel で自動計算すればいい。Word で作るのが大変。だったら、Excel のセルを方眼紙のようにしたら、丸や四角をきれいに並べやすい。だったら、ジェノグラムそのものを Excel で作ればいいんじゃないか、と考えました。丸や四角だけでなく、名前も書けばいい。住所も、学校も、仕事も、その人について知っておいた方がいい情報はしっかり書けばいい。それまで資料の 8 分の 1 くらいに小さく載っていたジェノグラムを、A4 一枚いっぱいに広げました。2018 年頃、そんなことを家で思い立ち、自宅でせっせと Excel で自分のイメージするジェノグラムを作っていました。生年月日から年齢や学年などが自動で出てくるようにしました。出来上がったものを見ると、思っていた以上でした。作るのが楽なだけじゃない。想像した以上に家族が分かりやすい。ケースを知ら

ない人が見ても、家族のことがよく分かる。私が最初に困っていたことまで、かなり解消できたのです。

会議で使ってみた

ケース会議で使ってみました。便利。参加者の情報がバラバラでも、ササッと家族が分かる。同じ情報を見ながら話すことができ、とにかくわかりやすい。「ああ、面倒！」をやっつけにいったら、いろいろな問題が一緒に解決できました。スタッフにも関係機関にも喜ばれ、A4 一枚のジェノグラムが職場に定着しました。今では、他の機関から Excel で作ったジェノグラムが欲しいと言われてるそうです。



もっと簡単にできないか

Excel のジェノグラムは完成品のレベルまでいきましたが、それでも初めての人が作るにはハードルがあります。慣れた私が作っても、それなりに時間がかかります。また、オンライン上でジェノグラム

を見てきましたが、みなさん、とても苦労しています。思いどおりに描けず、困っている様子を何度も見てきました。誰でももっと簡単につくれるようにしたい。

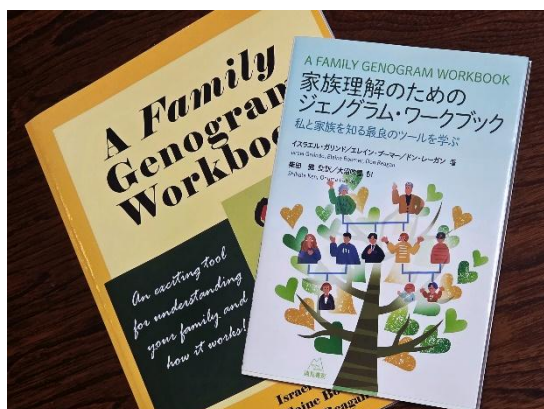
国内外のツールを探しました。でも、機能や保存方法、料金など、私が考える「誰でも気軽に使えるもの」とは、どこかが合いません。思い切って、プロの作り手に相談すると「簡単なものでも 500 万円くらいですね」と。無理です(笑)。いったん、諦めました。

なぜか付き合い続けた

ジェノグラムについて学び続けました。本も買い、ネットもいろいろ見て、私なりに勉強しました。すると、はっきり見えることがあります。描き方がバラバラなのです。夫婦をどう線でつなぐか、婚姻をどう表すか、妊娠をどう描くか。調べれば調べるほど、「こんなにバラバラでいいのか?!」と思うようになりました。ネットをあさっていると、ジェノグラムのことだけで 2 日も講義している人を見つけました。この人に習いたい！それが千葉晃央さんでした。

なんの面識も、つてもないのに連絡を取り、学ばせてもらいました。一緒に「秋田京都ジェノグラム研究会」という研究会をつくって活動してもらったり、ジェノグラムを使った事例検討について教えていただくなど、大変にお世話になってます。他にも様々な方と様々な機会を通じてジェノグラムを学ばせてもらっています。海外にも目をやり、2024 年には『家族理解のためのジェノグラム・ワークブッ

ク』を翻訳しました。福祉を学んできたわけでもなく、「この丸と四角、何なんだ」と言っていた人です。我ながら「よくやるよ、変わってる」と思います(笑)。



今ならできるかも

いま、生成 AI が急速に進歩しています。ふと思いました。今なら、作れるんじゃないか。そう思って作り始めたのが、冒頭で紹介したジェノグラム作成ツール、「結(ゆい)」です。2 週間で、話言葉だけでジェノグラムが作れるところまでできました。最初の目標には、すぐに到達しました。でも、もっとみなさんにとって役立つものにしたい、分かりやすくしたい。開発意欲が止まりません。作り始めて一か月ほどですが、国内外の他のツールに負けない出来栄えになったんじゃないかと自負しています。でも、それを決めるのは現場のみなさんです。多くの方に喜ばれるものを作りたいと思っています。

そして、別の問題へ

ところが、ツールを作り込むほど、以前から引っ掛かっていた、「こんなにバラバラでいいのか?!」という問題が避けられなくなってきました。簡単にジェノグラムを作れても、描く人によって意味が違ったら困ります。マクゴールドリックらが示してきた描き方は有名ですが、日本ではまだまだ描き方はバラバラですし、日本の制度や家族の表現には不十分なところもあります。

私がやりたいことが、「便利なツールを作る」だけではなくなりました。ジェノグラムの普及のため、日本の現場・法制度などにマッチした日本版の表記基準を定めたい。

せっかく便利なジェノグラムなのに、「描くのが面倒」「描き方が分からない」「人によって描き方が違う」で使われないのは、もったいない。そんな障害を、一つずつなくしていきたいと思っています。

ツールの開発も、ジェノグラムの表記基準の検討も、当然、一人で完結する話ではありません。

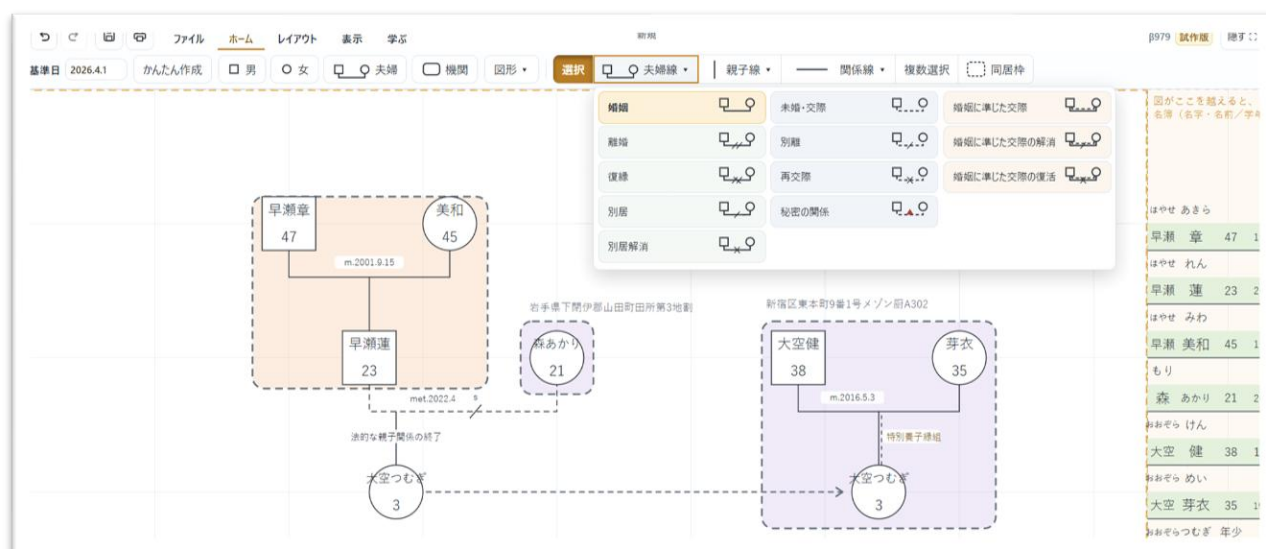
この連載では、ジェノグラムの普及のための歩みや自分が感じてきたいろいなことを少しずつ書いていこうと思います。

ジェノグラムの記号のこと。描き方がなぜバラバラなのか。日本ではどう描けばいいのか。

「うちではこう描いている」「ここがいつも面倒」「こんな機能があれば使いたい」

「こんな家族は、どう描けばいいのだろう」そんな声も、ぜひ聞かせてください。興味のある方には、一緒に考えていただければと思っています。

あっ、それと、ジェノグラム作成ツール「結(ゆい)」を早く使いたいという方は、こちらまでご連絡ください。 yui.kazoku.shien@gmail.com



ジェノグラムを、誰もが使える家族理解の道具に。

ジェノグラム for Everyone。

「結」は、今も毎日のように変わっています。3 か月後、この連載の第 2 回が出る頃には、どうなっているでしょうか。

それはそれとして、最後に、もう一度。

そのジェノグラム、家族が見えますか？